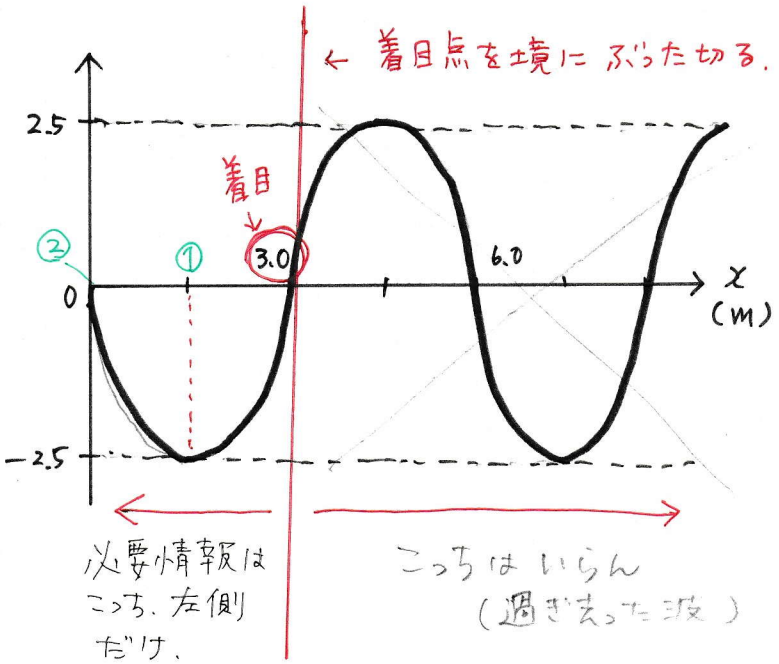
〈まとめ〉　y-x図から　y-t図　への表し方.

問題文の
y-x図の見方

着目点が
3.0 mのとき.

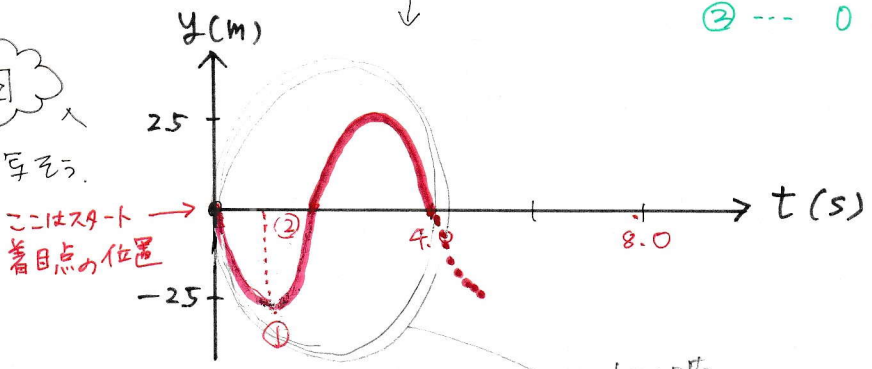


着目点より
左側エリアは、これから 着目点に向かって どんぶらこ〜と
やってくる波.

直近にやってくる波は ① その次にやって来る波は ② となる.
このように、y-t図へ表す波の順番は、着目点から左の方向へ 順々と 見ていく.

① … -2.5の位置
② … 0の位置
だから

y-t図へ
書き写そう.



1つの波

目盛の打ち方は 周期を考えたらOK.

$$T = \frac{\lambda}{v}$$

にあてはめる.

λは波長(山+谷の波1個分の長さ)

例えば、Tが 4.0 s と
求められたら 4.0ごとに
1つの波になるように目盛りを打つ